

研究職員（選考採用）募集要領

農林水産省農林水産政策研究所では、標記研究職員の募集を行っております。

国家公務員総合職試験では適任者が得られない特別の知識、能力又は技術を必要とするポストについて、優秀な人材を採用するために行っているもので、今回の採用予定ポスト、募集条件、選考採用試験要領は下記のとおりです。

記

1. 採用予定官職及び研究業務内容とキーワード

農林水産政策研究所研究員 5名

（詳細は別紙のとおり）

2. 応募条件（以下の全てを満たすこと）

- ① 農学、地域政策等の農林水産業、地域政策に関連する分野の大学院博士課程修了の学歴又は同等程度の能力を有する者
- ② 研究職員として採用予定ポストの研究課題を担当するために必要な知識、能力又は技術を有する者

※ 以下に該当する者は応募できません。

- ・ 国家公務員法第38条（欠格条項）の規定に該当する者

3. 採用時期

平成30年10月1日及び平成31年4月1日予定

4. 給与等

一般職の職員の給与に関する法律（昭和25年法律第95号）に基づき研究職俸給表を適用（級号俸は職歴等を勘案して決定）。

5. 勤務地

農林水産政策研究所（東京都千代田区霞が関3-1-1）

6. 提出書類

- ① 履歴書（市販のA4判用紙に手書きし、写真を貼付すること）
 - ※ 博士号を取得している場合は、履歴書の資格欄等に、博士号の分野、学校名、学位番号、学位授与日を記載すること。
- ② 研究業績報告（所定の様式に従って研究課題、背景、方法、成果、成果の評価、発表論文等を記載）
 - ※ 研究業績報告様式は別紙のとおり
- ③ 主要な論文、著書等3点を各3部（コピー可）
ただし、単著又は筆頭著者のものに限りませす。
- ④ 応募する仕事に対する抱負（A4判1枚）
- ⑤ 事務連絡用E-mailアドレス（パソコン及び携帯電話等）



7. 書類提出先

〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-1-1

中央合同庁舎第4号館

農林水産省農林水産政策研究所

庶務課人事厚生係

※ 封筒あるいは封緘した包みの表に「研究員（選考採用）応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付して下さい。

8. 応募締切

平成30年7月13日（金）（必着・締切日厳守）

9. 選考方法

- ① 一次選考 書類審査（平成30年7月下旬予定）
- ② 二次選考 一次選考合格者に対してのみ面接審査（平成30年8月上旬予定）
（二次選考の日時は、後日、一次合格者に直接お知らせします。）

10. 問い合わせ先

農林水産省農林水産政策研究所

- ・研究内容に関するもの
農林水産政策研究所次長 出田（いでた）
- ・事務に関するもの
庶務課人事厚生係 渡邊（わたなべ）

TEL : 03-6737-9000

FAX : 03-6737-9600

11. その他

応募に関する秘密は厳守いたします。また、応募書類の返却はいたしませんので、ご了承ください。

採用予定官職	研究課題と研究業務内容	任用期間
役職：農林水産政策研究所 研究員 官職：農林水産技官	<p>③ 「我が国農産物の需要フロンティア開拓と新たなバリエーションの構築に関する研究 (グローバルマーケット)」</p> <p>農林漁業者の所得を向上させ、農林水産業の成長産業化を図るためには、人口の増加や経済成長等により更なる成長が見込まれるアジア地域や高所得者人口の多い欧米地域等の世界の食市場の獲得が必要不可欠となっている。また、国内農林水産物の主要な供給先であり、農林水産物・食品の輸出でも重要な役割を果たしている食品産業は、海外展開の拡大によって一層の発展が期待されている。</p> <p>このような観点から、海外市場における国産農林水産物・食品の需要・消費の動向・展望や我が国の食品産業の海外展開に関する行動・戦略について、マクロ的な視点から、定量的な分析を行う。</p>	平成31年4月1日 予定 公募のキーワード： 1. 農林水産物・食品の輸出 2. グローバルマーケット 3. 食品産業 4. 海外展開 5. 成長産業化
役職：農林水産政策研究所 研究員 官職：農林水産技官	<p>④ 「我が国農産物の需要フロンティア開拓と新たなバリエーションの構築に関する研究 (高付加価値型フードシステム)」</p> <p>社会構造やライフスタイルの変化等に対応して、我が国の農林水産業の持続的発展と農林漁村の振興を実現していくためには、農林漁業者の所得を向上させ、農林水産業の成長産業化を図る必要がある。このためには、農林漁業者が付加価値をより多く取り込むことができるよう、地域ぐるみの6次産業化等を推進するとともに、農林水産物・食品の生産・加工・流通過程を通じた高付加価値型のフードシステムを構築することが重要である。</p> <p>このような観点から、年代別・性別・就業状況別等の食料需要・消費の動向とそれに対応した農林水産物・食品の生産・加工・流通システムの対応方策について、調査・分析を行う。</p>	平成31年4月1日 予定 公募のキーワード： 1. 超高齢化社会 2. 人口減少社会 3. 高付加価値化 4. 6次産業化 5. フードシステム

採用予定官職	研究課題と研究業務内容	任用期間
役職：農林水産政策研究所 研究員 官職：農林水産技官	<p>⑤ 「農業・農村コミュニティの再生に向けた地域農業・農村社会の構造的な変化に関する研究（農業担い手）」</p> <p>これまで一定規模の農地集積を図ってきた既存の「担い手」の中には、後継者の不在等から農業経営の継承が困難なものも少なくなく、これら経営体の経営継承の行方が、地域の農地集積・集約化、すなわち農業構造改革の進展を規定する大きな要因となってくる。また、経営規模の拡大に伴って不足する農業労働力を雇用によって補っていく必要があるが、他産業部門においてても労働力不足が深刻化しており、その中で獲得競争に打ち勝ち、多様な雇用農業労働力を安定的に確保していくための課題は多い。</p> <p>このような観点から、持続可能な経営体が地域農業の大宗を担う農業構造へと変動していく過程で生じている様々な課題、担い手の経営展開が地域農業・農村構造に及ぼす影響を明らかにするため、地域性を踏まえた実証的な調査・分析を行う。</p>	平成31年4月1日 予定 公募のキープワード： 1. 農業担い手 2. 経営継承 3. 農地の集約化 4. 雇用労働力 5. 地域労働市場

